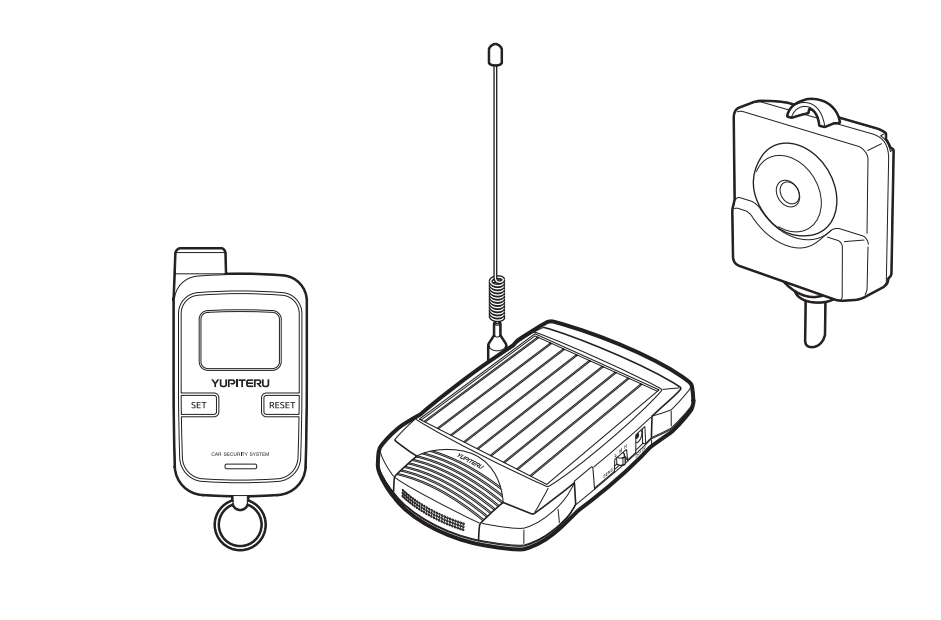


株式会社コピテル
YUPITERU

CAR SECURITY SYSTEM
DS-37SJ

Aguilas Pro

取扱説明書 / 保証書



12V車専用

このたびは、コピテルのCAR SECURITY SYSTEM をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、車内に装着し、衝撃や傾斜、ドアの開放を検知すると、光とサイレンの組み合わせにより警告・警報を発し、車上あらしや盗難を未然に防止する簡易型防犯装置です。また本機は、電波法第四条「適合表示無線設備」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するレギュレーション用無線設備です。

※オープンカーではご使用できません。

！ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

保証書
(持込修理)

品番 DS-37SJ
S/No.
 お買い上げ年 月 日
 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
 お買い上げの日より1年
(電池はこの有効期間は除く)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものとします。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

無効

TEL()

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書などの注意事項にしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機体本体及び本書をご提示、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

3. ご転居ご贈答品などで本書記載に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷

(ロ) お買い上げ後の移動、落下などによる故障及び損傷

(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、盗害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷

(ニ) 特殊な条件下など、通常以外の使用による故障及び損傷

(ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合

(ヘ) 本書のご提示がない場合

(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えた場合

(チ) 付属品や消耗品などの消耗による交換

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

ご使用の前に(安全上のご注意)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分けし、説明しています。

- △危険**：危険内容を無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が想定されます。

△警告：警告内容を無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定されます。

△注意：注意内容を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる危険な状態が生じることが想定されます。
- 絵表示について**

△ この記号は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

○ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

➡ この記号は、関連する箇所を示します。

●センサーユニット専用電池(ニッケル水素電池)について

- △危険**

❗ 分解、改造、はんだ付けしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

❗ ニッケル水素電池の端子部を針金などの金属で接続しない。また、他の金属と一緒に保管しない。持ち運びしない…ニッケル水素電池がショート状態となり、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

❗ 火の中に投入したり、過熱したりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- ❗ 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

❗ 万一、ニッケル水素電池が漏液したり、変色・変形、破裂、発熱、発煙、発火、破裂する原因となるときは、すみやかに水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

- △警告**

❗ ニッケル水素電池を濡らさない。また、濡れたニッケル水素電池を充電したり、使用しない…故障、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

❗ 濡れた手でニッケル水素電池をさわらない…感電の原因となる可能性があります。
- ❗ ニッケル水素電池の被覆をはがさない…故障、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

❗ 乳幼児の手の届かないところに保管する。

- △注意**

❗ ニッケル水素電池を充電するときは、取扱説明書をよくお読みください。

❗ 指定(専用ニッケル水素電池)以外の電池を使用しないでください。

❗ 火のそば、ストーブのそばなどで充電したり、放置しない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- ❗ ニッケル水素電池の被覆をはがさない…故障、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

❗ 乳幼児の手の届かないところに保管する。

3 センサーユニットを取り付ける

ダッシュボードに直接取り付け

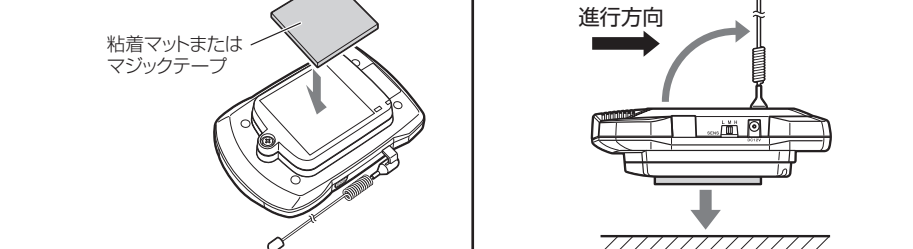
ソーラーパネルに太陽光が良く当たる場所に取り付けてください。ソーラー充電の効率が上がり、連続して警戒できる時間が長くなります。取り付けの前に専用電池を装着してください。

➡ センサーユニットに専用電池を装着(交換)する

・ビラーから最低5cm以上離してください。通信距離に影響します。

・あらかじめ、貼り付ける場所のチリや汚れ、脂分をよく落とすた後、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

- 1** 電池カバーに粘着マットまたは、マジックテープを取り付ける
- 2** アンテナを立て、直射日光の当たりやすい場所に取り付ける



- 粘着マットについて**
- 強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できますが、はがしても接着剤などの跡が残りにくいのが特長です。
- 粘着マットの上手な使いかた**
- 粘着マットは、両面テープなどと比べるとはがしやすい反面、傾斜した面やダッシュボードの表面の素材や状態によっては、貼り付きにくく安定しないことがあります。
- 粘着マットの保護シートをはがす前にダッシュボード上に仮置きし、地面に對するなるべく水平な場所にあるかを確認してください。
 - 粘着マットで安定した取り付けができない場合は、同梱のマジックテープを使用するか、市販の強力両面テープを使用し、固定してください。
 - 粘着マットの表面に付着したホコリや汚れなどは、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元し、再度使用することができます。

- △警告**

❗ エアバッグの上に取り付けないでください。万が一のとき動作したエアバッグで飛ばされ、事故やケガの原因となります。

❗ 自動車の運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- △注意**

❗ 取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。

※まれに、ダッシュボードが変色・変形(跡が残る)することがありますが、あらかじめご了承ください。

- △警告**

❗ 水をつけたら、水をかけない。また、濡れた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

❗ 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

❗ 運転中に絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に確実に取り付け…誤った取り付けや、不備な取り付けはケガや交通事故の原因となります。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- △警告**

❗ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしていない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグコードの使用時に配線が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

❗ 急発進したり急ブレーキをかけない…安全運転は、大変危険です。また、本体などの脱落、落下などによるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 車両のバッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

❗ サービスマン以外の人、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

❗ シガープラグコードは確実に差し込み…シガープラグコードが確実に差し込まれていなかったり、異物が付着して接触不良を起こしていると、火災の原因となり、正しく動作しないことがあります。

❗ 12V 車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

❗ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしていない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグコードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

●本体について

- △警告**

❗ 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、警戒状態にしない…警告・警報機能がはたらいた場合、大音量を発しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。

❗ 水をつけたら、水をかけない。また、濡れた手でシガープラグコードの抜き差しや操作をしない…火災や感電、故障の原因となります。

❗ 運転中に絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

❗ 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

❗ 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に確実に取り付け…誤った取り付けや、不備な取り付けはケガや交通事故の原因となります。

❗ 万一、本体が破損した場合は、すぐにシガープラグコードを抜き、内蔵電池を取り外す…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

❗ 車両のバッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ サービスマン以外の人、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

❗ 電源コードを傷ついたり、無理に曲げたり、加えない…感電やショートによる発火の原因となります。

❗ シガープラグコードは確実に差し込み…シガープラグコードが確実に差し込まれていなかったり、異物が付着して接触不良を起こしていると、火災の原因となり、正しく動作しないことがあります。

❗ 急発進したり急ブレーキをかけない…安全運転は、大変危険です。また、本体などの脱落、落下などによるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 車両のバッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

❗ サービスマン以外の人、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

❗ シガープラグコードは確実に差し込み…シガープラグコードが確実に差し込まれていなかったり、異物が付着して接触不良を起こしていると、火災の原因となり、正しく動作しないことがあります。

❗ 12V 車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

❗ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしていない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグコードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

4 センサーユニットを充電する

お買い上げ時、センサーユニットの専用電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや長期間お車をご使用にならなかった場合は、下記手順で充電を行ってください。

※ 12V車専用です。DC12V以外では使用できません。

- 1** 付属のシガープラグコードを、DC12V ジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

差し込みにくい場合、シガープラグコードを、2 ～ 3 回左右にひねりながら差し込みます。
- 2** 車のエンジンをかけて、充電する

本機は、シガーライターソケットに接続しておくことで、車の走行中(エンジンキーが ACC または ON)に充電されます。

充電時間の目安

電池の状態に応じて急速充電、またはトリクル充電を行い、約2時間でフル充電されます。

1時間以上の充電で、本機をご使用になれますが、満充電にはなりません。

※急速充電は充電電流が大きくなり、ケースの一部が多少熱くなりますが故障ではありません。

- △注意**

❗ シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。

❗ シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、新しいヒューズ(1A)と交換してください。シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。

❗ 交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。
- △メモ**

シガープラグの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに常時電源が供給される車は、別売 OP-20 をエンジンキーに連動して ON/OFF する電源(アクセサリ電源)に接続して、ご利用ください。常時、電源が供給されている状態では、警戒できません。

- △注意 電波法について**

● センサーユニット裏およびリモコンの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

● 海外では使用しないでください。

● 分解したり改造するときは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。
- 使用上のご注意**

ご使用前にセンサーユニットに付属の専用電池を装着し、2時間以上充電してください。充電は、付属のシガープラグコードで本機とシガーライターソケットを接続し、車のエンジンをかけて(エンジンキーが ACC または ON)ください。

※警戒状態を長期間保つために、走行中に充電(常時シガーライターソケットに接続)することをオススメします。

- 使用するとき、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、空気の振動や衝撃音を正しく検出できません。
- 音圧センサー搭載のセキュリティシステム装着車とは併用できない場合があります。警戒や解除操作でセキュリティシステムが警戒を発することがあります。
- シガーソケットが常時電源になっている車では、停車時にシガーソケットからプラグを抜いていただくか、別売オプション OP-20 などを使用する必要があります。
- 車にボディカバーを被せて駐車する場合、ボディカバーによっては、電波を通しにくいものがあり、通信距離が短くなる場合があります。
- ボディカバーを被せた場合は、光や音が通るため、威嚇効果が十分に発揮できません。
- 強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときにはワインドウやボディへの衝撃を検知して警報を発しているため、セキュリティの警戒開始・警戒解除のリモコン操作や警告・警報の受信には問題ありません。

本機は、センサーにより異常を検知し、警告・警報を発する簡易型防犯装置で、盗難を完全に防止できるものではありません。また、本機の動作の有無にかかわらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- △注意**

❗ 窃盗犯は複数であったり、バールやハンマーなどを携帯している場合があります。通報や警報で車両を確認する際は、慎重に対応してください。

❗ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

❗ コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。
- △注意**

❗ 窃盗犯は複数であったり、バールやハンマーなどを携帯している場合があります。通報や警報で車両を確認する際は、慎重に対応してください。

❗ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

❗ コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

5 ソーラー充電について

本機はシガーライターソケットからの充電(約2時間)で約1か月(※)の連続した警戒が可能です。ソーラー充電は連続した警戒動作を維持するため、警戒中に消耗した電池を補助的に充電するものです。

※連続警戒時間は、1日3時間の日照時間で威嚇パターン1を選択した状態のときに、週2回のドア開警報が発生した場合を想定した時間です。

- 上手な充電方法**

ソーラーパネルに太陽光がよく当たる場所に取り付ける

駐車するときは、ソーラーパネルに直射日光がよく当たるように、南向きに駐車するように心がけてください。効率の良い充電ができます。

初めてご使用になるときは、付属のシガープラグコードを接続し、2時間以上、エンジンをかけた状態で充電してください。
- △メモ**

天候や警報の発生頻度によっては、充電不足となることがあります。

また、本機はソーラー電卓などと違い、ソーラーパネルのみでの駆動はできません。専用の充電電池を必ず接続してお使いください。

1 各部の名称とはたらき

- センサーユニット**

MODE(モード)ボタン
警戒モードの変更や威嚇パターンの変更ができます。

サイレン
音を出します。(90dB/m)

感度設定スイッチ
衝撃感度を3段階(L/M/H)から選択できます。● 衝撃感度の切り替え
※強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)

リモコン

液晶画面(バックライト搭載)

SETボタン

プザー

アンテナ

電池カバー

電源スイッチ
電源のON/OFFやボタンロックができます。

RESETボタン

技術基準適合証明ラベル
技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

リモコン表示について

 - 液晶画面は点灯(点滅)後、バッテリーの残りのため灯ります。
 - 気温が0℃以下になると液晶表示が薄くなったり、表示されないことがあります。セキュリティの警戒開始・警戒解除のリモコン操作や警告・警報の受信には問題ありません。
- ※ECO充電
シガーライターソケットからの電源を供給できる状態のときは、走行中の充電に加え、駐車中もソーラーパネルから充電できます。

技術基準適合証明ラベル
技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

DC12V ジャック
(シガープラグ接続端子)
付属のシガープラグコードを接続して、シガーライターソケットから電源を供給し、センサーユニット専用電池への充電を行います。

電子傾斜センサー(内蔵)
セキュリティが警戒を開始したときからの傾斜角の変化を検出します。

直圧センサー(内蔵)
ドアを開けたときやウィンドウ、ボディが弾かれたとき、車内の空気の振動や衝撃音を検知します。
- タイラップ通し穴

サイレン(87dB/m)
警告・警報音を出します。

マグネット(背面)

ヒューズ(2A)

赤リード線 2m
バッテリーのプラス端子に接続します。

黒リード線 2m
バッテリーのマイナス端子に接続します。

電源コード(約3m)

DCプラグ

プラス端子

先端キャップ

マイナス端子

シガープラグ
(ヒューズ内蔵)
先端キャップを外す(反時計方向に回す)とヒューズを交換できます。(1A)

6 リモコンの電源をON(OFF)にする

お買い上げ時など、ご使用前に電源をONにしてご使用ください。

- 電源を ON にする**

電源スイッチをONの位置にする

「ドミソド」が鳴ります。

センサーユニットと通信を行い、バックライトが点灯し、警戒状態をお知らせします。

 - 警戒解除中：「ビュビュ」
 - 警戒中：「ビュ」(サイレントモード ON 時は「ビュビュ」)
- 電源を OFF にする**

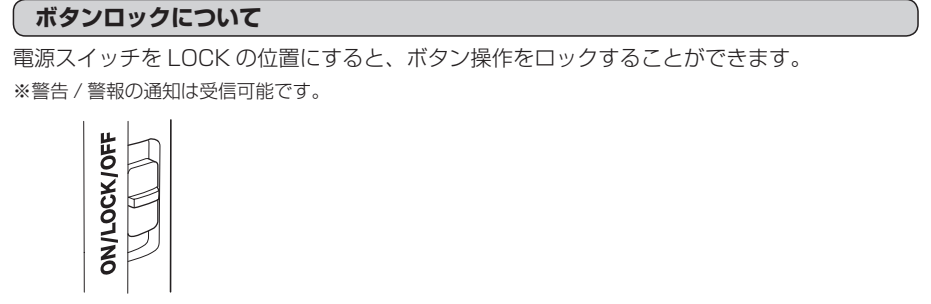
電源スイッチをOFFの位置にする

「ドミソド」が鳴ります。

センサーユニットと通信ができなかった場合は、「ビュビュ」が鳴り、受信状態表示はありません。
- ボタンロックについて**

電源スイッチを LOCK の位置にすると、ボタン操作をロックすることができます。

※警告 / 警報の通知は受信可能です。



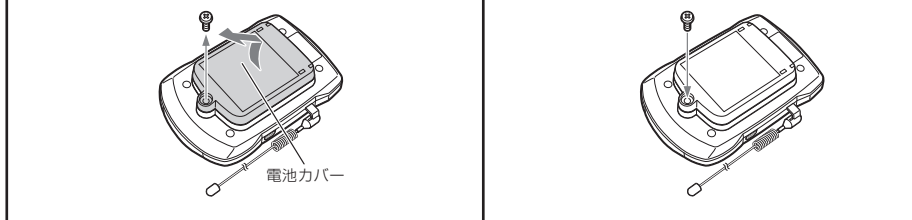
2 センサーユニットに専用電池を装着(交換)する

本機をご使用になる前に、付属の専用電池をセンサーユニットに装着してください。また2時間以上充電をして、すでにローバッテリーになる場合や充電ができなくなった場合は、販売店に「DS-37SJ 用のニッケル水素電池」でご注文のうえ、新しい電池を購入し、交換してください。

装着(交換)手順

- 1** 電池カバーの取り付けネジを外し、電池カバーを取り外す

電池カバーを取り外すときは、ツメに注意して外します。
- 3** 電池カバーを装着し、電池カバーの取り付けネジを締める



- 2** 本機のジャックに電池コネクタを差し込み、新しい電池を収納する

ケーブルをガイドに収めて収納します。
- ニッケル水素電池を外すときは(交換時など)**

電池カバーを外してから、ニッケル水素電池を外します。

△注意

❗ 本機は、専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため、専用電池以外は使用できません。



お願い

本機は、リサイクル可能な電池(ニッケル水素電池)を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、端子部をテープなどで絶縁して(端子部の金属が露出していない場合は除く)最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。

- リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCのホームページ (<http://www.jbrc.net/hp>) をご参照ください。

ニッケル水素電池はリサイクル

7 リモコンの表示について

- ① 受信状態表示

リモコンの受信時に電波の受信状態(強さ)を表示します。

①	強	最適な受信状態にあります。
②	良好	本機操作や通報の受信は、ほぼ問題なく行えます。
③	弱	本機操作や通報は受信できますが、通信エラーが発生することがあります。
④	非表示	圏外
- ② 送受信表示

電波の送信時や受信時に矢印を表示します。

➡	電波の送信中であることをお知らせします。
➡	電波の受信中であることをお知らせします。
- ③ サイレントモード表示

センサーユニットや車外サイレンのサイレン音を鳴らさない設定時(サイレントモード ON 時)に表示します。
- ④ 電池残量表示

リモコンの電池容量を 3 段階で表示します。

④	電池残量が十分な状態です。
④	電池残量が少なくなっている状態です。
④	電池残量がほとんど残っていない状態です。電池を交換してください。
- ⑤ 警戒表示

セキュリティの警戒を開始すると表示し、セキュリティの警戒を解除すると消します。
- ⑥ 警報回数表示

警戒を開始してから警報回数を表示します。

➡ 警戒中に異常を検知すると(警告・警報と通報)
- ⑦ 警告・警報表示

警戒中にドアが開いた場合や衝撃などを検知したときに表示します。

➡ 警戒中に異常を検知すると(警告・警報と通報)

⑦	弱衝撃	警告	ウィンドウやボディに弱い衝撃を受けたときに表示します。
⑦	強衝撃	警告	ウィンドウやボディに強い衝撃を受けたときに表示します。
⑦	傾斜	警報	車両が傾いたときに表示します。
⑦	ドア開	警報	ドアが開かれたときに表示します。

